

米海軍兵による女性暴行傷害事件に関する意見書

去る10月16日未明、沖縄本島中部において、米国テキサス州フォートワース海軍航空基地所属の米海軍兵2人が、帰宅途中の女性に性的暴行を加えたうえ、けがを負わず極めて悪質な人権を蹂躪する事件が発生し、県民に強い衝撃と大きな不安を与えている。

在日米海軍によると、両容疑者は補給業務を支援する通常業務のため、14日から嘉手納基地で従事し、事件の発生した16日にはグアムに移動する予定であったとのことであり、短期間の滞在中に帰宅途中の女性に性的暴行を加えてけがを負わせるという蛮行に激しい憤りを覚え、断じて許すことのできない卑劣極まりない犯罪である。

沖縄県内で復帰後の米軍構成員等による犯罪件数は、平成23年12月末時点で5,747件発生しており、更に今年8月にも米兵による強制わいせつ事件が発生し、県内各地で抗議と怒りの声が上がったばかりである。戦後67年が経過する今なお、基地から派生する事件・事故等により、県民がその意思に反して巻き込まれる構図が、未だ継続している過酷な状況下にあることを如実に物語っている。

また、県民の猛烈な反対運動にも関わらずオスプレイを強行配備した日米両政府へ反発が強まる中での今回の米兵による犯罪に対し、県民の怒りと不信感は頂点に達している。

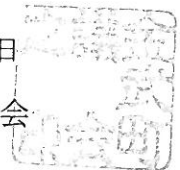
よって、金武町議会は、県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求し、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

1. 被害者及び家族への謝罪と完全な補償を行うこと。
1. 加害者の厳正な処罰をおこなうこと。
1. 米軍人・軍属等の徹底した綱紀粛正及び人権教育のあり方を根本から見直すこと。
1. 日米両政府は、理不尽な日米地位協定の抜本的な見直しを行うとともに、基地の整理縮小・返還を促進すること。

平成24年11月2日

沖縄県金武町議会



宛先

内閣総理大臣 防衛大臣 外務大臣
沖縄及び北方対策担当大臣 沖縄防衛局長

可決

平成24年11月2日
金武町議会議員 仲里全孝

米海軍兵による女性暴行傷害事件に関する抗議決議

去る10月16日未明、沖縄本島中部において、米国テキサス州フォートワース海軍航空基地所属の米海軍兵2人が、帰宅途中の女性に性的暴行を加えたうえ、けがを負わず極めて悪質な人権を蹂躪する事件が発生し、県民に強い衝撃と大きな不安を与えている。

在日米海軍によると、両容疑者は補給業務を支援する通常業務のため、14日から嘉手納基地で従事し、事件の発生した16日にはグアムに移動する予定であったとのことであり、短期間の滞在中に帰宅途中の女性に性的暴行を加えてけがを負わせるという蛮行に激しい憤りを覚え、断じて許すことのできない卑劣極まりない犯罪である。

沖縄県内で復帰後の米軍構成員等による犯罪件数は、平成23年12月末時点で5,747件発生しており、更に今年8月にも米兵による強制わいせつ事件が発生し、県内各地で抗議と怒りの声が上がったばかりである。戦後67年が経過する今なお、基地から派生する事件・事故等により、県民がその意思に反して巻き込まれる構図が、未だ継続している過酷な状況下にあることを如実に物語っている。

また、県民の猛烈な反対運動にも関わらずオスプレイを強行配備した日米両政府へ反発が強まる中での今回の米兵による犯罪に対し、県民の怒りと不信感は頂点に達している。

よって、金武町議会は、県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の事件に対し嚴重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

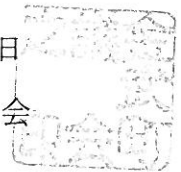
以上、決議する。

記

1. 被害者及び家族への謝罪と完全な補償を行うこと。
1. 加害者の厳正な処罰をおこなうこと。
1. 米軍人・軍属等の徹底した綱紀粛正及び人権教育のあり方を根本から見直すこと。
1. 日米両政府は、理不尽な日米地位協定の抜本的な見直しを行うとともに、基地の整理縮小・返還を促進すること。

平成24年11月2日

沖縄県金武町議会



宛先

米国大統領 駐日米国大使 在日米軍司令官

在日米海軍司令官 在沖米国総領事

在日米軍沖縄地域調整官

可決

平成24年11月2日
金武町議会議長 仲里全孝

